(桜川市行政評価システム) 記入年月日 の実績評価) 令和 3年度 事務事業評価表( 令和 2年度 月 事業区分 事務事業名 市子ども会育成連合会運営助成事業 新規/継続 継続 事務事業No. 020303000648 政策体系上の位置付け 単独/補助 補助 090601 所属課 総合計画の施策名 O2O3 青少年の健全育成 生涯学習課 02 生きがいを育む学びのまちづくり 課長名 牛涯学習G 施策名 03 青少年の健全育成 グルー 系 手段名 03 ③地域教育力の充実 担当者名 財務会計上の位置付け 丵 誀 事業 細 一般会計 単年度繰返し 年度~) 予算科目 01 10 05 05 01 00 青少年対策事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 市子ども会育成連合会運営補助金交付要項 事務事業の現状把握(その1)  $[D_0]$ (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 市内単位子ども会(102単位子ども会)及び育成会並びに指導者の活動を調 〇補助金の支出事務 5月・3月 整・援助し、子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全な育成を図るために 〇安全共済会加入受付及び申し込み事務 4月~5月 〇総会 4月開催(◎教育長、課長、担当) 市子ども会育成連合会の主要事業の開催に関する準備及び事業実施の補助を行 〇各事業に関する事務及び事業開催補助 ①事業部会 ②役員会 ③募集案内 ④関係機関との打合せ ⑤参加者とりまとめ ⑥事前準備 ⑦当日の運営補助 〇各種研修・会議実施に係る事務及び運営補助 手 【主要事業】 段 ○総会・役員会・事業部会 〇防災宿泊体験・桜っ子探検隊・桜っ子の心を育てる事業 ○指導者講習会 ○全国子ども会安全共済会加入とりまとめ 〇県西地区子ども会育成連絡協議会参画事業/(一社)茨城県子ども会参画事業 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移 01年度 02年度 03年度 04年度 ○5年度 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 事業開催回数 600 200 600 600 6.00 0,00 0.00 0.00 0.000,00 市子ども会育成連合会の運営補助を行う。 0.000.000.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 ○1年度 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 子ども会会員数(会費納入者数) 1,795.00 1,688.00 1,700.00 1,650.00 1,600.00 子ども会育成者・指導者数(安全共済会 子ども会会員 人 1,678,00 1,481.00 1,450.00 1,400.00 1,350,00 育成者•指導者 加入者数) 0.000.000.000.000.00○1年度 02年度 03年度 04年度 05年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 200.00 市子連事業参加総数  $\mathsf{A}$ 25700 150.00 220.00 200.00 青少年の健全育成を図る。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 01年度 02年度 03年度 期間限定 (3) 投入量(事業費)の推移 (中)(丰) 中生 終むる

					(夫領)	(夫領)	(計画)			総技人重	
	事業費		国庫支出金	千円	0	0	0			0	
投		財	県支出金	千円	0	0	0			0	
		源	地方債	千円	0	0	0			0	
		内	使用料・手数料		0	0	0			0	
		訳	その他	千円	0	0	0			0	
入			一般財源	千円	595	64	595			0	
			『業費計(A)	千円	595	64	595			0	
		正	規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				
量											
		O2年度事業費 実績(千円)					03年度事業費 予算(千円)				
	18	負担金	補助及び交付金	64			18 負担金補助及び	交付金 595			
事											
業											
考											
の											
内											
訳											
0, (											
					合 計	64			合計	595	

				00000000000						
_		市子ども会育成連合会運営助成事業	事務事業№.	20303000648	所属課生生涯学習課金をおいます。					
(2	子ども会の発展と次世 開始時とは明らかに少	iしたきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始 代を担う青少年の健全育成を図るために実 子化によって会員数が減少しており、負担 団体やスポーツ少年団など、子どもを対象	施。昭和30年代に始まった 日の大きさから、事業の実施に	と思われる。 は欠くことのできない保	護者の協力が得にくくなってい					
	なっていると思われる	0								
(!		て関係者(住民、議会、事業対象者、利害								
		ており,単位子ども会の活動がなかなかで る。また,新型コロナウイルスの影響によ								
	97, 303 30									
	See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。								
	①政策体系との整合性	(この事務事業の目的は市の政策体系に結び <sup>*</sup>	評価項目	びついているかの)						
改革改	話びついている	施策体系・青少年活動の充実につな		0 201 (018)2. [ )						
改善を				3的か2)(注定受託事業は	マの夕称)					
を行う	妥当である	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 「安当である 市内の児童生徒を対象としているため、公共関与は妥当であると考えられる。								
- -					<b>期待できないのか?)</b>					
	向上余地がある	事業部会制を取り入れ、ある程度改		事業連宮の実施による成	:果の向上か期待される。 					
有	④廃止・休止の成果へ 			度関与したければ 会白						
効性	影響有	<b>」</b> れる。	EL COOLES, HEAD OF		11年73 教屋のでいうでものうと言れる					
	⑤類似事業との統廃合 (他に手段がある場合	<ul><li>・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能)</li><li></li></ul>	性がありますか?(市以外の取り F育成桜川市民会議運営助成事							
	連携ができる	同じく児童生徒を対象とした団体と	の連携を促進することで、更	なる成果の向上、経費の	削減が期待される。					
効	⑥事業費・人件費の削	除余地(成果を下げずに事業費を削除でき	ないか?やり方を工夫して延	べ業務事業を削減できな	いか?)					
率性	削減余地がある	役員構成を変えることにより団体主	導による運営を促進すること	で、担当者の業務時間を	削減できると考えられる。					
公	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)									
平性	公正・公平である	市内全域の児童生徒を対象としてい								
Ē	Plan】 3. 評価結果( 1) 1次評価者として	の総括と今後の方向性(次年度計画と予算 この評価結果	への反映)  (2) 全体総括(振り返り	、 反省点)						
(	②有効性 □ ③効率性 □	適切 ■ 見直し余地あり <b>¬</b>	映され、団体主導のよりよい 連携で、幅広い活動が展開で た。	事業運営ができつつある きたことに加え、子ども	すとともに、保護者目線の意見が反 。また、市内高校生や各種団体との たちの社会性の向上にもつながっ 、具体的な手立てが取れていない。					
		適切 □ 見直し余地あり		18. 03 MRV 12 9 8/217 C						
(3	う後の事業の方向性		(複数回答可)		(4)改革・改善による期待成果					
	□ 終了 ■ 継続	読 → ■ 改革改善を行う →	目的の再設定	効率性の改善 公平性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)					
	□ 廃止 □ 休」	_		連携ができる	削減 維持 増加					
		見する上で解決すべき課題(壁)とその解 り、役員構成について検討する必要がある。		キ支える取組や、多くの	成維					
	子供たちが参加できる事業を計画する必要がある。 果 持 低									
					(6)事務事業優先度評価結果					
[	Check】 4. 確認及で	『改革改善に向けての指摘事項			成果優先度評価結果					
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)										
課長確認後の評価 確認欄										
	B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出									